



# 林業福島

No. **637**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会  
会長 齋藤卓夫



**9**

**2017**

監 修 ■ 福島県農林水産部  
表紙の写真 ■ 職 人 の 技



4月1日「トヨタ本社工場」記念植樹

# 社会貢献活動 トヨタ自動車本社工場敷地に 「福島県のさくら」を植樹

福島県農林種苗農業協同組合

代表理事組合長 野尻 榮一

平成二三年三月に発生した東日本大震災から六年が過ぎ、観光も含め復興の歩みが進んでいます。

しかし、原発事故の影響による誤解や偏見がまだまだ根深く、風評に悩まされているのが現状です。

そのような中、福島県農林種苗農業協同組合は、福島県の『さくら』を全国各所に咲かせることで『ふくしま』を身近に感じてもらう活動として、二〇一五年から「一般社団法人福志会」と共に「ふくしまサクラモリ」プロジェクトに取り組んでいます。

プロジェクトの狙いは、

- ① 福島のことを見守る人を一人でも多く増やしたい。
- ② さくらを通じ、福島県が美しい土地であることを改めて感じて欲しい。
- ③ 福島県に対する多くの誤解や福島の子供たちが今抱えている屈辱の思いを払拭して欲しい、の三点です。

この取組に対して、トヨタ自動車株式会社・全国のトヨペット販売会社様のご協賛をいただいております。トヨタ自動車グループが『緑豊かな街づくり』をめざして昭和五一年より全国に展開している社会貢献活動「トヨペットふれあいグリーンキャンペーン」に用いる桜として二〇一五年から二〇一七年七月末までの間、福島県産ソメイヨシノを用いたさくら苗『ふくしま』総本数一、八九九本を、東日本大震災の復興支援の一環として「福島さくら夢工場」と名付けた契約農園から出荷しています。

二〇一七年四月一日（土）には、トヨタ自動車株式会社のご協力で、プロジェクトの想いを込めた『ふくしま』三三本を本社工場敷地内に、愛知県内へ避難されている福島県のご家族とともに植樹しました。

当日は雨模様でしたが、トヨタ自動車社会貢献推進部の方々をはじめ社員の皆様の入念なご準備とおもてなしにより、参加された福島県のご家族も楽しんでいらした様子でした。お子さん達も大人の助けを借りながら、夢中になつて笑顔で苗木を植え、温かな雰囲気の中で植樹が行われました。

トヨタ自動車株式会社に機会をいただき、福島の方々とは避難先の地域や人々との絆を育む催しとなりました。

今後も福島県農林種苗農業協同組合は、全国各地へ満開の桜の花を届けるため、「ふくしまサクラモリ」プロジェクトに取り組んでまいりますので、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願ひします。

追伸、活動状況については「ふくしまサクラモリ」で検索してください。

## 《も く じ》

とびら	第4回福島県緑の少年団交流集会……………	6
社会貢献活動	第36回福島県治山林道研究発表会について…	7
トヨタ自動車本社工場敷地に「福島県のさくら」を植樹	普及指導員通信……………	8
福島県農林種苗農業協同組合	森連だより……………	9
代表理事組合長 野尻 榮一……………	きこの振興センターだより……………	10
第69回全国植樹祭の開催日が決定しました。	「自然に親しむ」……………	11
「プロゴルファー・全国植樹祭応援プロジェクト」を実施…	木材市況・ふくしま東西南北……………	12
公共建築物における木材利用の推進について…	はなしのひろば・お知らせコーナー……………	13
古殿町における森林認証の取組について…		

# 第69回 全国植樹祭 2018 福島

育てよう 希望の森を いのちの森を

## 第69回全国植樹祭の

### 開催日が決定しました。

第69回全国植樹祭福島県実行委員会事務局

(福島県農林水産部全国植樹祭推進室内)

四八年ぶりに本県で開催する全国植樹祭の開催日が、平成三〇年六月十日に決定されました。

本大会では、大会のテーマである「育てよう 希望の森を いのちの森を」の下、全国からたくさんのお客様をお迎えし、これまで国内外から寄せられた温かい御支援に対する感謝の気持ちを伝えようと、命を守り未来へと希望をつなぐ森林づくりを広く全国に発信します。

なお、本会場で行われる式典に参加するためには、事前の申込が必要となります。申込の受付は、九月中旬から開始する予定です。申込方法は、次号以降の林業福島や、全国植樹祭HP等での掲載を予定しておりますのでご確認ください。



開催日決定パネル除幕式 (H29. 8. 9)  
左から齋藤福島県森林・林業・緑化協会会長、佐久間さん (田村市立栗田小学校緑の少年団)、佐藤くん (同緑の少年団)、内堀知事

## 「プロゴルフツアー・全国植樹祭

### 応援プロジェクト」を実施

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

緑化推進局

平成二九年七月二七日〜三〇日に西郷村「グランディ那須白河ゴルフクラブ」で開催された「ダンロップ・スクリソン福島オープン(以下「大会」という。))」において、ジャパンゴルフツアー選手会、(公社)ゴルフ緑化促進会及び当協会の共催で、「プロゴルフツアー・全国植樹祭応援プロジェクト」を実施しました。

このプロジェクトは、来春に開催される全国植樹祭を応援するため、プロゴルフの皆様から大会で使用したゴルフボールやグローブ、サイン色紙のグッズをご提供いただくとともに、大会ギャラリーに募金をお願いし、その記念品としてご提供いただいたグッズを贈呈するものです。

大会期間中、ゴルフクラブ内に設けられた「ふくしま元氣プラザ」にブースを設置し、訪れた観戦ギャラリーに呼びかけた結果、大会関係者の方々のご協力もあり、一〇二、三五〇円の募金がよせられました。

また、大会二日目には、県内の企業に所属し、「大会アンバサダー」を務める高橋竜彦プロと妻葉月さんがブースを訪れ、協力を呼びかけてくださいました。この様子は地元紙に加え全国へネット配信もされ、福島県南相馬市での全国植樹祭のPRに繋がりました。



ブースでの募金の呼びかけ

# 公共建築物における

## 木材利用の推進について

福島県林業振興課

### 1 はじめに

国や地方公共団体が整備する公共建築物は、戦後しばらくの間、建物の不燃化やひっ迫した木材の消費を抑制する観点から、非木造化が進められ、その多くが鉄筋コンクリート造や鉄骨造により建設されてきました。

その後、森林資源が充実し、本格的な利用期を迎える中で、木造建築物の不燃化等に関する技術開発の進展に伴い、建築基準法が順次改正され、木造建築物に対する規制が徐々に緩和されたことにより、これまで木材の活用機会が少なかった中大規模建築物においても活用の幅が広がっています。

このような中、木造率が低く、潜在的な需要が期待できる公共建築物において、国や地方公共団体が率先して木材利用に取り組むことが重要

との考えから、平成二三年に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」（以下「公共建築物等木材利用促進法」という。）が制定され、全国各地で木材を積極的に活用する取組が行われております。

### 2 公共建築物等木材利用促進法に基づく方針

国は、公共建築物等木材利用促進法に基づき策定した基本方針の中で、国が整備する三階建て以下の低層建築物については、原則として全木造化を図ることを目標に掲げ、国自らが取り組んでいくという姿勢を明確に示しました。

本県においても、国の基本方針に即して、平成二三年七月に「ふくしま県産材利用推進方針」を策定し、県産材の活用による公共建築物の木造化・木質化を推進しているところ

です。

また、市町村においても、県内五九市町村の八八割に当たる五二市町村において、県方針に則した市町村方針が策定され（平成二九年八月現在）、地域の木材を活用する動きが活発化しています。

国では、法施行後の状況変化を踏まえ、本年六月に基本方針の見直しを行い、準耐火構造で建築が可能となった三階建て木造校舎の建設やC L T・耐火木質部材等新たな木質部材の活用を促進する旨を追加しました。

今後、県においても、国の見直しを踏まえた方針の改定作業を行っていく予定です。

### 3 公共建築物木造化の実績

平成二七年度における県内の公共建築物の木造率（延床面積ベース）は、全国平均並となつていますが、特に木造化を図るべきとしている低層建築物について見ると、延床面積の実数では、全国で六番目に多く、また、県が整備したものについては、全国最多となる一万平方メートルを超

える実績が確保されたところであり、県産材需要の創出に繋がっています。

公共建築物の木造率・延床面積（平成27年度）

区 分	全 国	福島県 (全国順位)
公 共 建 築 物 全 体	11.7%	12.8% (27位)
	1,846千㎡	64千㎡ (7位)
うち低層(3階建て以下)	26.0%	25.9% (32位)
	1,516千㎡	58千㎡ (6位)
うち都道府県整備	9.8%	19.8% (16位)
	34千㎡	11千㎡ (1位)

【出典】 林野庁資料

（上段：木造率、下段：延床面積）

### 4 市町村及び民間事業者が整備する公共建築物の木材利用への支援

公共建築物等木材利用促進法では、国又は地方公共団体が整備する

建築物に加え、これら以外の者が整備する学校、社会福祉施設、病院及び公共交通機関の施設等についても「公共建築物」に位置付け、民間事業者等へ木材利用の促進を幅広く呼びかけて理解と協力を得るよう規定されております。

県では、県が整備する建築物での木材利用に努めているほか、市町村や民間事業者に対し、木材利用のモデルとなる公共建築物の建設を支援しており、平成二八年度までに県内三二施設の木造化・木質化が図られました。この中には、県内企業によつて開発された木材利用・建築技術を活用した先進的な事例もあり、今後の利用拡大に向けた取組が進められています。

公共建築物における木材利用の拡大は、公共需要を生み出すという直接的効果はもとより、民間建築物への波及効果が期待できることから、今後も、各種補助事業を活用した支援を継続するとともに、木造建築事例集の作成や支援制度の情報発信等を通じて、普及促進に取り組んでまいります。

## ◆県内企業の独自技術を活用した公共建築物の事例

### ○大径JAS製材によるトラス構造



喜多方市立熊倉小学校体育館

### ○縦ログ構法



ほしっぱの家 [南会津町]

### ○鉄骨造+WOOD.ALC（厚板集成版）



復興公営住宅関船団地 [いわき市]

### ○集成材ラーメン+CLT



郡山ヘアメイクカレッジ

# 古殿町における森林認証の取組について

古殿町産業振興課

古殿町では、二〇一七年三月十四日付けで二〇二二年三月十三日まで有効となる町有林の一部を対象としたSGECのFM認証を取得しましたので、森林認証に取り組んだ背景や今後の見通しについて報告します。

本町は総面積一六、三四七鈔のうち八二・四鈔を占める一三、四七〇鈔が森林であり、約半分の七、三一六鈔が民有林です。町内大久田地区等は戦前から林業を営む方が多く、戦後の木材価格の高騰を契機に、町内全域で拡大造林が進み、民有林の七五・三鈔にあたる五、五一二鈔がスギ主体の人工林で、県内一の人工林率を誇ります。また、民有林のほとんどは個人有林であり、町内の森林資源を背景に、林業が関連産業も含めて町民の幅広い就業の場となっています。

「二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックも控えている中で、町のPRに活用できるのではないかと議会において何度か話題にのぼってきた経緯があり、約六〇鈔の町有林のうち、県行造林や部分林を除いた二五・四四二七鈔において、森林認証の取得検討を始めました。認証の取得による材価向上は期待していなかったものの、世界的な違法木材排除の流れが強まっていること、また外部からの監査が入ること、労働者の安全確保や自然環境への配慮といった点で現場の改善に資することが期待されること、自然環境と調和した持続的な森林経営手法の普及が期待されることから、平成二八年度の当初予算に取得審査の費用（県の森林環境交付金を充当）を計上しました。

当初予算に計上した時点では、知名度の高さからFSCの取得を念頭に置いていましたが、既に取得済みの他自治体等にヒアリングしたところ、FSCでは溪畔林の取り扱いで沢沿いの植栽木の伐採が難しい等の事例があったため、町内の急峻な地形、地質に即した路網の設置等森林施業の現状に照らしてSGECを選択しました。SGECはあくまで国内の物差しであり、FSCより劣るのではないかと、との議論もありましたが、ちょうどPEFCとの相互承認が成立したタイミングであったため、国際基準として今後洗練されていくことが期待できることも選択判断のひとつとなりました。

既に認証材供給の問い合わせはありますが、認証材の面積が小さく供給量が限られ取引に至っていないため、安定供給を図るための認証面積拡大が今後の課題として挙げられます。今後、町内の森林所有者に参画を呼びかけ、認証取得審査時の指摘事項を共有することとしており、今後は町有林を核としたグループ認証に発展させることを目指しています。

また、町内の木材産業関係者に呼びかけてCOC認証取得のバックアップも検討しています。

本町では町産材の強度調査を行うなど、古殿杉のブランド化を目指しているところであり、森林認証もうまく活用できるよう官民一体となり取り組んでまいります。



# 第四回福島県緑の少年団交流集会

## 自然と友と過ごす二日間

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局

平成二九年七月三〇日～三十一日（日～月）大玉村のふくしま県民の森・フォレストパークあだたらにおいて、「第四回福島県緑の少年団交流集会」を開催しました。

この交流集会は、今回で四回目の開催となり、緑の少年団同士交流を深めるとともに様々な体験や研修等を通じて、次世代の主役となる森と緑づくりを担う青少年を育成するため、二泊三日の日程で実施しています。今回の交流集会には、田村市立要



記念撮影

田小学校緑の少年団、飯豊小学校緑の少年団（小野町）、大甕緑の少年団（南相馬市）、新地町緑の少年団、綴秋山みどりの少年団（いわき市）の計二五名（団員十八名、引率者七名）が参加しました。

開講式終了後、木工室に移動し、三班に分かれて木工工作としてマイ箸づくりを行いました。子どもたちは作り方の説明をよく聞いて、自分の好みの形になるよう慎重にカンナでヒノキ材を削り、一人ひとりオリジナルの箸を作りました。

箸づくりを終えると次は、全国植樹祭関連事業である「森林（もり）とのきずなづくり植樹リレー」の一環として、参加少年団の各代表者五名と渡邊会長が「セイヨウシヤクナゲ」の苗木を森林学習館の敷地内に植樹しました。

その後、子どもたちは同施設内の個別サイトに移動し、福島県キャンプ協会の松前雅明さんをはじめ四名のキャンプ協会スタッフの指導の下、テント設営と夕食づくり（カレーとバーベキュー）を行いました。

一日目の最後はナイトハイクということで、子どもたちは、キャンプ協会お手製の空き缶ランタンを片手に、カッパを着て活動班毎に小雨の

降るなか出発しました。夜の森（施設敷地内）にあらかじめ用意されたコースの目印となるロープを頼りに、チェックポイントの旗をとったり滝の裏をくぐったりしながら廻りました。

二日目は、朝食と準備運動を済ませたあと、福島県もりの案内人の会 桑原信さんをはじめ三名の案内人 スタッフのガイドの下、活動班毎にビジターセンターを出発し、安達太良山の麓にある「遠藤ヶ滝」まで散策しました。

散策終了後、森林学習館に戻り閉講式を行いました。

閉講式では、各班の代表者が楽しかったことや特に印象に残ったことなどを発表しました。子どもたちは、「カレーづくりを頑張った」「初めて会った友達とすぐに仲良くなれた」「ナイトハイクで一番に帰ってきて他の班がなかなか戻らなくて心配した」などこの二日間を思い思いの言葉でふりかえり、一日目に行っていた「森林（もり）とのきずなづくり植樹リレー」の短冊に森づくりへの想いを記入して、二日間にわたる交流集会将締めくくりました。

来年の六月一〇日には、いよいよ第六九回全国植樹祭が南相馬市で開催されます。今後、緑の少年団の役割が更に重要になってくることから、これまで以上に青少年育成活動を支援・推進していかなければなりません。

次回も子どもたちに有意義な時間を過ごしてもらおうとともに、参加して良かったと思えるような交流集会にしていきたいと思えます。



My箸づくり



記念植樹



遠藤ヶ滝散策

# 第36回福島県治山林道研究発表会について

福島県農林水産部森林整備課・森林保全課

## 1 はじめに

福島県では、治山・林道等森林土木業務の研究・情報・体験等の発表や意見交換等を通じて職員の技術の向上を図り、森林土木事業の発展に寄与することを目的として、標記発表会を開催しました。

## 2 発表会について

発表会は、平成29年7月31日(月)、福島県郡山市の福島県林業研究センター研修本館で開催し、各農林事務所や市町村職員のほか、一般出席者を含め、65名が参加しました。今回は、治山部門6件、林道部門2件の計8件の発表がありました。

## 3 発表内容及び審査結果

発表内容及び審査結果は、次のとおりです。

No.	所属	氏名	区分	題名	審査結果
1	会津農林事務所	宮村 知快	治山	自然地山補強土工法における補強材の変状について	
2	いわき農林事務所	○岡田 健吾 齋藤 綾香 遠藤 普子	治山	新舞子地区におけるニセアカシアの分布拡大とクロマツへの影響について	最優秀賞
3	森林整備課	齋藤 卓	林道	林道施設長寿命化計画策定に向けた取組	優秀賞
4	県北農林事務所	糸川 隼人	治山	森林土木事業におけるドローン (UAV) の活用	優秀賞
5	南会津農林事務所	加藤 翔子	治山	只見町上前山地区における雪崩予防杭の導入について	
6	森林保全課	大野 真紀	治山	山地災害危険地区について	
7	会津農林事務所	武田 裕矢	林道	会津の林道橋の現状とこれから	最優秀賞
8	県南農林事務所	山田 茂隆	治山	平成10年8月末豪雨災を振り返って	

## 4 全国及び北海道・東北地区発表会への出場

優秀な発表については、それぞれ全国や北海道・東北地区で行われる発表会で、福島県代表として発表することになります。

### ◎「第57回治山研究発表会」へ推薦（治山の部最優秀賞）

- ・日時 平成29年9月20日(水)～21日(木) 午前9:00～
- ・場所 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）

### ◎「北海道・東北地区第53回治山林道研究発表会」へ推薦（治山の部優秀賞、林道の部最優秀賞及び優秀賞）

- ・日時 平成29年9月1日(金) 午前9:00～
- ・場所 アピオ青森（青森県青森市）

## 5 おわりに

本発表会を通して、過去の災害事例の振り返りや、森林土木事業を行っていく上での新たな技術・工法についての提案や問題点、現在行われている治山・林道事業の問題と解決策について、発表者・参加者ともに知識や認識を深めることができました。

これらの発表をきっかけに、森林土木技術の更なる向上や施策の推進を図っていくとともに、近年多数発生している豪雨や土砂崩れなどの自然災害への対応に活かしていきたいと思えます。



発表会



講習



表彰式



# カラマツの着花促進について

会津農林事務所

林業普及指導員 五十嵐 正 徳

## 1 はじめに

本誌No.633「2017・5月号」の苗協だよりに掲載がありました「カラマツ種子」着花情報提供のお願い」に関連して、当管内において安定的なカラマツ種子採種を目的とした「環状剥皮による着花促進」を平成28年度に地域林業技術伝承事業（森林環境基金事業）により試験区を設け施行しましたので、その内容について報告します。

## 2 着花促進方法の選択

樹木はストレスを加えたり損傷を受けると、自らの子孫を残そうと働き、種子を大量に生産するといわれており、人為的に外部から強制的にダメージを負わせ、着花を促進させることが可能と考えられます。これまでの知見から、採種園に造成したカラマツの樹幹を一部剥皮することにより、着花促進効果が認められた事例が報告されています。この事例を参考に、当管内でも環状剥皮の方法により、カラマツの着花促進効果を検証することとしました。

## 3 林分の概要

環状剥皮は、その手法が巻き枯らしに酷似しており、それが致命傷となり最悪枯死させてしまったのでは元も子もありません。このため、会津若松地方森林組合の協力を得て、間伐を計画している2林分（磐梯町（林齢66年生）、会津若松市河東町（林齢65年生））に試験区を設定し間伐選定木に施行しました。両試験区とも平坦な造林地で胸高直径は平均30cm程度に達しています。

## 4 施行方法

平成28年12月中旬に、2段剥皮、3段剥皮、4段剥皮、全周剥皮の4パターンを1パターン4～6本施行しました（図-1）。



図-1 「3段剥皮の施行状況」

## 5 観察結果と考察

着花状況の確認は、枝下高が高く樹冠が閉塞しているため容易ではありません。そこで着花状況よりも比較的観察しやすい球果の着生状況を確認する手法をとることとしました。

しかし、環状剥皮は昨年12月に施行していますので、既に花芽分化が終わった後です。カラマツは、花粉交配が行われてから1年で種子をつくります。今年観察できる球果は昨年着花し今年交配したものを観察することになるので、今年の着花状況を推測するには、もう1年待つて球果の着生を観察する必要があります。そこで、今年の球果の着生状況を指標にして、来年度、環状剥皮による効果を検証するため、平成29年7月21日に双眼鏡を用いて目視により球果の観察を行い、5段階の判定基準により着生状況を数値化しました（表-1）。

未だ環状剥皮の実施から約半年経過の状況のため、今後、環状剥皮による外的刺激関与の影響がどのように現れるのか楽しみなところです。間伐実施までの期間を経過観察していくとともに、課題として、環状剥皮の実施時期や施行木の選定について検討していきたいと考えております。

表-1 カラマツ球果着生状況

- 判定基準 1 樹冠全体に球果が確認できない。  
 2 樹冠に疎らに球果が認められるが数は極めて少ない。  
 3 樹冠に均一に球果が認められるが数は少ない。  
 4 樹冠に均一に球果が認められ数も多い。  
 5 樹冠に均一に球果が認められ数が非常に多い。

単位：本

施行方法	判定基準				
	1	2	3	4	5
磐梯町					
2段剥皮	3	2			
3段剥皮	4		1		
4段剥皮	1	2	1		
全周剥皮	4	1	1		
計	12	5	3		
河東町					
2段剥皮	3	2	1		
3段剥皮	4		1		
4段剥皮	2	2	1		
全周剥皮		3	1		
計	9	7	4		

森連だより

## 森林認証取得への取組

二〇一三年九月七日の国際オリニピック委員会（IOC）総会において、五六年ぶりに東京でオリンピックを開催することが決定されました。

大会で利用する木材として認証材が示されたことを契機に「森林認証」という言葉を耳にすることが多くなりましたが、制度について十分に理解されている方は少ないのではないのでしょうか。

そこで森林認証制度について簡単に紹介いたします。

森林認証制度は、適切な森林経営や持続可能な森林経営が行われている森林から生産された木材・木材製品にラベルを貼り付けることにより、生物多様性の保全や持続可能な森林経営を支援する取り組みで、森林管理を認証する「森林管理（F M : Forest Management）認証」と、



認証森林から産出された林産物の適切な加工・流通を認証する「COC（Chain of Custody）認証」で構成されます。

福島県においても森林認証制度への関心が高まりつつあり、本会では、平成二八年度に森林環境基金事業として、森林認証制度の普及、認証取得に向けた次の取組を実施しました。

1. 森林認証制度普及PR  
森林認証制度を広く知ってもらうために、県内認定事業者及び関係機関へのパンフレット等を用いた普及活動を行いました。
2. 森林認証セミナー等開催  
認証機関の登録コンサルタントである全国森林組合連合会より制度の概要、県内で既に認証を取得している南会津町及びNPO法人

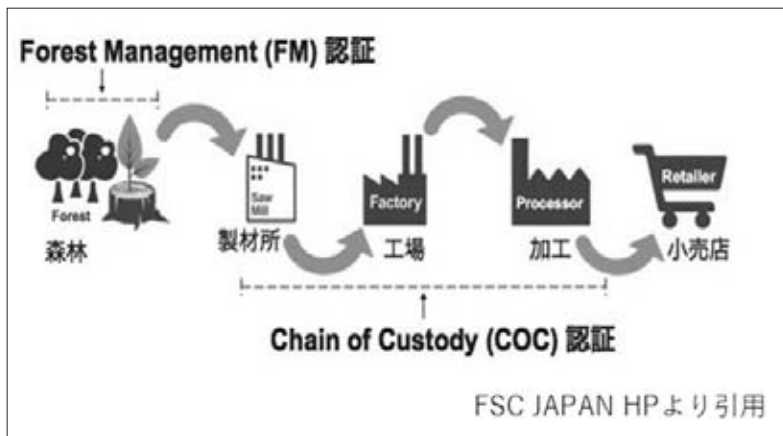
より認証取得までの取組と現状について御講話をいただきました。

### 3. 森林認証取得講習会開催

森林認証の取得を検討している事業者を対象に、制度概要や取得までの流れについて全国森林組合連合会から講師を招聘し、講習会を開催しました。

### 4. 森林認証取得コンサルタントによる森林

認証に必要な申請書類の作成支援を実施しました。



コンサルティング風景

本会では、今年度も森林認証の普及や認証取得へ向けた支援に取り組んでおりますので、興味のある方、認証の取得を検討している方は是非ご連絡ください。

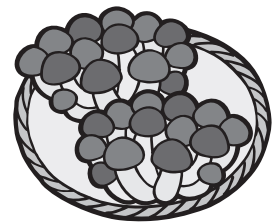
また、県内での認証取得の動きが活発化してきていることを受け、今後認証材の生産・流通の増加が見込まれます。そこで、県内における認証材の安定的な供給体制の構築に向けた取り組みとして、本会、いわき木材流通センターでは最新鋭の選別機を導入するとともに、流通に関する認証であるCOCの取得を計画しておりますので、皆様の出材をお待ちしております。

団体のページ

きのこセンター  
だより

「きのこ県福島」の復活

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会  
きのこ振興センター  
(TEL 024-947-2188)



きのこ振興センター

はじめに

東京電力福島第一原発事故から六年半が経過しましたが、「県産きのこ」に関する復興に特効薬はなく、風評も未だ収束には至っていません。そこで今回はきのこ振興センターでの「きのこ県福島」の復活に向けての取組についてご紹介いたします。

1. きのこ及び関連資材の放射線検査  
根拠のない風評を取り除くためには、放射性物質の検査が欠かせません。

現在でもきのこ栽培者からは、生産したきのこやきのこ生産で使用する菌床、資材等の検査依頼が多く寄せられています。その要望に広く応え、栽培者及び消費者の不安を払拭するとともに福島県産きのこの安全性を高めるため、当センターではNaIシンチレーションスペクトロメータを一台、きのこ原木用非破壊式放射線測定機(きのこ原木、ほだ木専用機)を一台、計二台できのこや栽培資材等の検査を随時行っています。主な検査対象資材は

○きのこ原木(きのこ栽培用の原木として丸太を玉切りしたもの)  
○ほだ木(きのこ原木に種菌を植菌したもの)  
○菌床用培地(おが粉・堆肥等基材に栄養材(米ぬか、ふすま等)及び水を混合したもの)  
○菌床(菌床用培地に植菌したもので、きのこは、生、乾燥きのこ(栽培きのこ)何れも測定可能です。結果については依頼状況及び測定件数にもよりますが一日程度で報告いたします。平成二九年度料金は一試料 シンチレーションが二、五九二円(税込)となりますので是非、お問い合わせの上ご利用ください。

2. 優良種菌の販売と普及

生産者が誇りを持って、安全で高品質のきのこが生産できるよう、当センターでは、県が開発したオリジナル品種の他、シイタケ、ヒラタケ、マイタケなど独自に開発した「きのこ種菌」を販売しています。

今回は、今後の地域復興には必須な「中山間地域での産地化形成」を目的に開発された福島県オリジナルナメコ六品種(福島県登録及び申請品種)についてご紹介いたします。

内訳は、菌床及び瓶栽培用四品種、原木栽培用二品種でそれぞれの特性、用途は次のとおりです。

○福島N-1号(菌床及び瓶栽培用品種)・・・秋早くから発生が始まる品種で、形質は中型株立ちが良く、ハウス、露地で作りやすい品種です。(極早生種)

○福島N-2号(菌床及び瓶栽培用品種)・・・形質は大型で傘が厚肉、芽数は少ないが株立ちが良く、ハウス、露地で作りやすい品種です。(早生種)

○福島N-3号(原木栽培用品種)・・・コナラ原木でも発生が良く、形質は中型、厚肉、株立ちが良く、野性味ある褐色の傘色の特徴です。(中生種)

○福島N-4号(原木栽培用品種)・・・コナラ原木での発生が良く、形質は中型、厚肉、株立ちが良く、野性味ある褐色の傘色の特徴です。やや福島N-3号に比較して大型で発生期間が半月程度長いです。(中生種)

○福島N-5号(菌床栽培用品種)・・・本年度より販売を開始した新品種で、形質は中大型で傘が厚肉、肉質が充実して茎が太く傘色が褐色の野性味あるきのこです。(晩生種)

○福島N-6号(菌床栽培用品種)・・・本年度より販売を開始した新品種で、形質は中大型で傘が厚肉、肉質が充実して茎が太く傘色が褐色の野性味あるきのこです。(中晩生種)

※発生時期は栽培地域、気象条件、培地及び管理状況等により多少異なります。

なお、露地でのきのこ栽培については、まだ出荷制限地域の設定がありますので管轄の県農林事務所へご確認の上実施してください。

その他のきのこ種菌及び栽培等に関しては「きのこ振興センター」までお問い合わせください。



シンチレーションスペクトロメータ測定



福島N-6号(室内発生)

「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 30 |

# お葉付きイチヨウ

樹木医 鈴木俊行



「お葉付きイチヨウ」は、岩瀬郡天栄村大字大里宮の地下内の武隈神社境内に生育している。生育地は、国道二九四号と県道二八二号の大里交差点を西へ約一〇〇メートルの場所にある。役場からは、南へ約二キロメートルの場所、近くには「ふるさと文化伝承館」や「道の駅季の里天栄」などがある。本イチヨウは、武隈神社の参道を進み、階段の上り口の右側に生

育している。根元周辺の地形はほぼ平坦であるが、根元は石段や石垣、記念碑に囲まれている。また、東側はスギ林となっている。武隈神社は、伊邪那岐尊、伊邪那美尊の二柱の神を守護神とし、藤原鎌足が神社に神領を寄進し、その後このイチヨウを植えたと伝えられている。また、このイチヨウは乳根が垂れ下がり「母乳の神」として崇められ、妊婦が参拝すると乳の出が良くなり、乳児が健やかに育つと言い伝えられている。樹齢は二五〇年とも三〇〇年ともいわれ、昭和五八年二月十七日に県緑の文化財に登録され

ている。オハツキイチヨウ (*Ginkgo biloba* var. *epiphylla*) はイチヨウの変種で、葉の上に実を結ぶ、または葉上に葯を付けるイチヨウのことを言う。この外シダレイチョウ、フイリイチヨウ、キレハイチョウなどの変わり目もある。イチヨウは、イチヨウ目植物で、一属一種でこの科だけでイチヨウ目とされる。繁殖力が強く人為的に広く栽培、植栽されているが、イチヨウ科の植物は中生代から新生代にかけて世界的に繁栄し、世界各地（日本では山口県や北海道）で化石が出土しているが、氷河期にほぼ絶滅し、イチヨウは唯一現存する種で、原産地は中国の安徽省と推測されているが、中国にも野生の樹はほとんどなく、レッドリストの絶滅危惧IB類に指定されている。日本にいつごろ伝来したかは不明だが、薬種として、また仏教と共に渡来したのではないかという説など諸説ある。

木材としては油分を含み水はけがよく、材も均一で加工性に優れ、歪みが出にくい特性を持つことから、カウンターの天板、建具、家具などのほか、碁盤や将棋盤にも適材とされ、イチヨウ材のまな板は高級とさ



れている。また、火に強い性質があるため江戸時代の火除け地に多く植えられた。本樹の形状は、樹高二三・五〇メートル、幹周四・八〇メートル、根元周七・九〇メートルの巨木である。枝張り東一二・〇〇メートル、西八・〇〇メートル、南一〇・〇〇メートル、北九・〇〇メートルと四方に大きく枝を伸ばし、圧倒的な存在感で一本で大きな森を創っている。オハツキイチヨウは全国に約二〇本の存在が知られているが、その中でも有数の一本の巨木であることはまちがいない。イチヨウの葉が色付き落ちる頃、葉の上にギンナンを付けた珍しい葉を探しに出かけてみてはいかがだろうか。

# 木材市況

## 素材の価格〈工場着価格〉(6月15日現在)

(単位: m当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)		9 (8~9)	0	9 (8~10)	0
		10~14		並	スギ	11 (11~12)	0	12 (12~12)	3	11 (11~11)	0	11 (11~12)	0
	中	14~22	3.00	並	スギ	11 (11~12)	△1	(0~0)		10 (9~12)	0	11 (9~12)	0
				並	ヒノキ	18 (13~24)	0	(0~0)		14 (14~15)	0	16 (13~24)	0
		6.00	並	スギ	16 (15~17)	0	11 (10~12)	0	15 (13~16)	0	14 (10~17)	0	
			並	ヒノキ	29 (24~34)	0	(0~0)		21 (18~24)	0	25 (18~34)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	11 (11~12)	0	10 (10~10)	0	11 (11~11)	△4	11 (10~12)	△1	
					11 (10~12)	0	11 (11~11)	0	11 (11~12)	0	11 (10~12)	0	
		4.00	並	アカマツ	9 (7~11)	0	(0~0)		9 (9~10)	0	9 (7~11)	0	
			並	アカマツ	8 (5~10)	0	(0~0)		7 (6~7)	0	7 (5~10)	0	
外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)		(0~0)		28 (28~28)	0	28 (28~28)	0	
			並	米マツ	32 (32~32)	0	32 (32~32)	0	29 (28~29)	0	30 (28~32)	0	
	28以下	3.80	並	エゾマツ	(0~0)		(0~0)		28 (27~28)	0	28 (27~28)	0	
			並	アカマツ	(0~0)		(0~0)		25 (25~25)	△8	25 (25~25)	△8	
4.00	並	カラマツ	(0~0)		(0~0)		23 (21~25)	△3	23 (21~25)	△3			
	並	カラマツ	(0~0)		(0~0)		23 (21~25)	△3	23 (21~25)	△3			
パルプ用材			並	マツ	6 (6~6)	0	(0~0)		5 (5~5)	0	6 (5~6)	0	
			並	広葉樹	9 (9~9)	0	(0~0)		6 (6~6)	0	8 (6~9)	0	

五月の原木市場への入荷状況は、前月比二三割減(前年比一割増)の二二、五二三立方メートルとなつてゐる。販売量は、前月比二四割減(前年比一二割増)の二一、四四三立方メートルとなつてゐる。六月の価格は保含いとなつてゐる。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)		7 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)		8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	13 (12~13)	0	10 (9~11)	0

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。  
 2. ( ) 内は各地域の価格幅、( ) 外は各地域の平均価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。  
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。



### いわき「山の名所」

いわき農林事務所 齋藤綾香

いわきの名所というと海を思い浮かべる方も多いと思いますが、実は山にも名所があります。その一つが「背戸峨廊(せとがろう)」です。背戸峨廊は夏井川渓谷の支流である江田川のこと、いわき出身の詩人である草野心平に名付けられました。「背戸」は隠れたところ、「峨廊」は美しい岩壁を意味するそうです。

いわき市から小野町に向かう県道四一号沿いに大きな看板があり、いわき歴一年の私は見かけるたびに気になっていましたが、先日ついに訪れることができました。出発前に読んだ資料では、初心者には「トツカケの滝」までがお勧めで、森林浴をしながらハイキングできると書いてありましたが、県道から林道に入り車を止め、歩き出すと予想外。つるつる滑る岩や鎖場など、想像していただよりもハードな道が続いていました。後で調べると、背戸峨廊は谷底に位置し、沢登りを手軽に体験できるが、油断は禁物な場所とのこと。しかし、そのハードさとは裏腹に、風景はとても綺麗で、澄んだ水の流れると木々の緑に囲まれ、まるで絵画の世界に迷い込んだようでした。私は今回、「トツカケの滝」までしか行つていませんが、背戸峨廊はこの奥にも「竜の寝床」や「三連の滝」など様々な見所があり、これまで奥は大雨の影響で入山禁止でしたが、今年の七月から入山可能になったようです。奥の道はもっとハードですが、体力に自信のある方は、ぜひ行ってみてください。



トツカケの滝 (この感動をぜひ現地です)

はなしの  
ひろば

「もりのなか」

本棚を整理していたら「もりのなか」(マリー・ホール・エッツ作)という絵本がでてきた。子どもたちが小さい頃に一緒に読んだ本だ。今でもこのタイトルを見ただけで「森」の樹々で浄化されたヒンヤリとした空気感、静かどこか謎めいた空間や木漏れ日を感じさせてくれる。

「もりのなか」動物たちはいるのか? 「川は流れているのか?」「鳥や蝶々は飛んでいるのかしら?」「木の実やキノコはとれるのか?」「森の中に入ったら帰ってこれるのかしら?」まだ幼かった二人の子のイメージだった。森という未知の世界への興味やわずかな恐怖心など、イメージがどんどん膨らんでいく。

「もりのなか」は、森の中での少年と動物達との出会いと別れを描いているが、その当時小一の娘は「明日もまた動物達は遊んでくれるよね。」と言いつつ、五歳の息子は「動物達は、最初からいたのかな?」とそれぞれ感想を話してくれた。どちらの感想も素直で大好きだった。あれから二六年が経つ。絵本のあの森も、今も変わらず自然淘汰という状況の中で、空気を浄化し、音を防ぎ、鳥や虫たちを呼んでくれるだろうか。「森は海の恋人」とも言われ、自然環境を良好な状態に保つためにも森は決して枯らしてはいけない。

「あの森には、今、どんな秋風が吹いているだろう…。どんな音の秋雨が降っているだろう…」と青く高い九月の空を眺めながら暫し思いを寄せてみる。秋は、大気が澄み、光も風も心地よく、思い出に耽るにはいい季節だ。ふと手にした本やふと耳にした音楽にあの頃の自分が蘇り、ただただ懐かしくなる。

秋は、人を詩人にするようだ。

(都)

表紙の写真



「職人の技」

第13回ふくしま森林・林業写真コンクール特別賞  
受賞者 熊田行雄さん(鏡石町)  
撮影場所: 矢祭町

編集

発行人

福島県内四森林管理署  
福島県森林・林業・緑化協会  
福島県森林組合連合会  
福島県木材協同組合連合会  
福島県農林種苗農業同組合  
ふくしま緑の森づくり公社  
森林研究整備機構福島水源林整備事務所  
福島県森林・林業・緑化協会  
(福島市中町五番一八号県林業会館内)  
発行人 水戸刷典株式会社  
陽光社印刷株式会社  
(定価 一〇八円)

お知らせコーナー

○野生きのこの採取及び出荷・販売について

野生きのこの季節となりまして、野生きのこの種類によっては、市町村単位で国から出荷が制限されています。出荷制限区域から採取されたものは、販売はもとより、飲食店、宿泊施設などでの提供、無償譲渡を行わないようご注意ください。

野生きのこの出荷制限については、福島県林業振興課のホームページで最新の情報をご確認ください。「福島県 野生きのこの出荷制限」で検索。  
(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo-monitoring.html>)

●野生きのこの出荷制限位置図



また、出荷が制限されていない町村産の野生きのこの出荷・販売を希望する場合は、出荷前にモニタリング検査を行う必要があるため、県農林事務所までご相談ください。  
安全な野生きのこの流通を図るため、皆様の御協力をお願いします。

●連絡先一覧

事務所名	住所・連絡先
県北農林事務所 (森林林業部)	福島市杉妻町2-16(福島県庁北庁舎5階) 024-521-2632
県中農林事務所 (森林林業部)	郡山市麓山一丁目1-1 024-935-1367
県南農林事務所 (森林林業部)	棚倉町大字関口字上志宝50-1 0247-33-2123
会津農林事務所 (森林林業部)	喜多方市松山町鳥見山字下天神6-3 0241-24-5734
南会津農林事務所 (森林林業部)	南会津町田島字根小屋甲4277-1 0241-62-5375
相双農林事務所 (森林林業部)	南相馬市原町区錦町一丁目30 0244-26-4305
富岡林業指導所	富岡町小浜553-2 0240-23-6084
いわき農林事務所 (森林林業部)	いわき市平字梅本15 0246-24-6193

# 備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



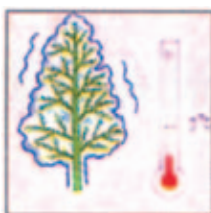
## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会  
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジのタワーヤーダ

# TY-U5C タワーヤーダ

IWAFUJI  
INDUSTRIAL CO., LTD.

橋梁型エンドレスタイラー方式に対応した  
5脚式タワーヤーダ  
上行荷・下行荷ともに橋梁型集材が可能



For the future with forest

**イワフジ工業株式会社 北関東支店**

[www.iwafuji.co.jp](http://www.iwafuji.co.jp)

(北関東支店) 福島県郡山市八山田5-314  
TEL 024-973-5168 FAX 024-973-5168

(本社・工場) 岩手県奥州市水沢区桜屋敷西5-1  
TEL 0197-23-3111 FAX 0197-25-3177

(支店) 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州



# 自然との調和

( 私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。 )  
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

<p><b>野生獣類から大切な植栽木を守る</b></p> <p>ヤシマレント</p> <hr/> <p><b>ヤマビル対策に</b></p> <p>マリックスター(駆除剤)</p>	<p><b>蜂さされ防止</b></p> <p>ハチノックL(巣退治) ハチノックS(携帯用)</p> <hr/> <p><b>タケを駆除する</b></p> <p>クロレートS</p>	<p><b>大切な日本の松を守る 住化グリーン®の林業薬剤</b></p> <p>ヤシマスミバイン乳剤 ヤシマスミバインMC グリーンガードNEO パークサイドF ヤシマNCS モリエートマイクロカプセル マツグリーン液剤2 マッケンジー</p>	<p><b>くん蒸用生分解性シート</b></p> <p>与作シート(茶・白) (折りたたみ式 専用キャリーバック使用)</p> <hr/> <p><b>竹・ササの防除に</b></p> <p>クロレートS粒剤</p> <hr/> <p><b>アメシロなどの害虫防除殺虫剤</b></p> <p>打ち込み上手</p>
---	---	---	--



**住化グリーン株式会社**

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

## 機器はゼノアから

<p>チッパシュレッダ</p>  <p>竹もOK! <b>SR3100</b> 出力 18.4kW (質量1,330kg) 水冷ディーゼル 967634301 ¥3,580,000(税抜)</p>	<p>ハンマナイフモア</p>  <p><b>ZHM1550</b> 出力 27.5kW (質量1600kg) 967081901 ¥5,860,000(税抜)</p>	 <p><b>ZHM800</b> 出力 7.4kW (質量230kg) 967088901 ¥748,000(税抜)</p>
---	---	--

**ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店**

**(有)うねめ林業機械**

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1